

平成23年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名		北陸地区新興再興感染症研究ネットワーク (支援期間：平成22年度～平成23年度)		
大学名	所属		氏名	
福井大学	福井大学（シニアフェロー）		高田伸弘	
福井大学	医学部		○岩崎博道	
福井大学	医学部		矢野泰弘	
金沢大学	医薬保健研究域医学系		○所 正治	
※ 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。				
その他の機関 の 構 成 員	機 関 名	所 属	職 名	氏 名
	金沢医科大学	医学部	講師	及川陽三郎
成果概要	<p>各研究室での継続的な感染症研究とともに、研究者の交流を実現するべく、第66回日本衛生動物学会西日本支部大会（大会長、及川陽三郎）、第67回日本寄生虫学会西日本支部大会（大会長、所正治）を金沢に招致し、また第29回北陸病害動物研究会（世話人、所正治）を金沢大学で開催することができた。</p> <p>研究者間の情報交換・共同研究の促進にこのような活動は極めて有効であり、新興感染症の問題点について議論することで認識を共有することができた。このような交流は新興感染症対策の基礎となる研究者間のネットワークの強化の点でも重要であり、今後とも継続の予定である。</p> <p>また、福井大学、金沢大学のグループ構成員である高田伸弘、所正治は、相互に各医学部の非常勤講師を担当し、各々の専門である衛生動物学、寄生虫学を学部学生に講義することでさらに交流を深めている。</p>			
獲得した外部 資金	<p>[高田伸弘] 厚労省科学研究費「新型インフルエンザ等新興再興感染症研究事業：リケッチアを中心としたダニ媒介性細菌感染症の総合的対策に関する研究」分担（代表 岸本壽男）（平成21年度～平成23年度） 科学研究費補助金基盤研究B海外学術調査「東アジア共通性マダニが媒介する新興アナプラズマ症、紅斑熱群、ライム病の分子疫学的研究」分担（代表 増澤俊幸）（平成23年度～平成25年度）</p> <p>[岩崎博道] 厚労省科学研究費 同上分担（平成21～平成23年度） 科学研究費補助金基盤研究C「多様化を続ける紅斑熱群の輻輳した病態解析に基づく治療制御法の確立」代表（平成24～平成26年度）</p> <p>[所 正治] 科学研究費補助金基盤研究C「クリプトスポリジウム症の効果的な治療に関する研究」代表（平成22年度～平成24年度） 科学研究費補助金基盤研究B海外学術調査「インドネシアに分布するジアルジアの遺伝的多型形成維持機構の研究」代表（平成20年度～平成22年度）</p>			